

同 志 社 大 学

2014 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015 年 3 月 4 日提出

所 属	職 名	氏 名
日本語・日本文化教育センター	助教	米澤 昌子
研 究 題 目	1 日本語教育の初中級レベルを対象とした初級復習教材の検討・作成 2 受給動詞の機能の広がり－受給動詞の様相－文体の違いからのアプローチ－	
研 究 成 果 の 概 要	<p>研究題目の2の日本語教育の初中級レベルを対象とした初級復習教材の検討・作成を念頭に置いた研究成果としては以下の3点をあげる。また、研究題目としてあげなかった成果も併せて報告する。</p> <p>① 第10回国際日本語教育・日本研究シンポジウムに出席し、共同研究発表を行う。香港で行われた学会である。この研究発表では、現在ある初級教科書10冊にモデル会話部分の場面構成要素を分析し、初級学習者の会話力習得に必要な場面とは何かを考察した。</p> <p>② 15年度学内の教材開発補助金制度に共同開発者として応募した。採択され、同志社大学日本語・日本語教育センター集中プログラム・短期プログラムで使用する独自の教材作りを進めている。2015年度春学期から使用を予定している。随時、作成、改定をしていく予定。</p> <p>③ 受給動詞の機能の広がりを調べるために、新聞を調査対象に、従来の自身の研究を進めている。「もらう」「くれる」の新聞での使用の機能は、話し言葉として会話等に見られる際の機能とは異なると思われるものが認められた。論文としての発表は、2015年度になると見通しを立てている。</p> <p>④ 研究題目にはあげていないが、以前に刊行しており、現在、中級レベルのクラスで使用している教材が完売見通しとなったため、修正作業を行い、改訂版を3月末日には発行予定。</p>	